

# 平成26年度生田緑地マネジメント会議 全体会

かわさき宙と緑の科学館学習室  
平成27年3月24日(火)9:00~

# 本日の流れ

## ○承認事項

マネジメント会議会則の変更について  
会員の入会について  
役員・運営委員(コアメンバー)の改選について



## ○報告事項

会員の退会と入会について  
クラブハウス跡地利用計画について  
平成26年度生田緑地マネジメント会議のふりかえり



## ○意見交換会

テーマ:『生田緑地のファンを増やしていくために』



## ○アドバイザーのお話し

東京都市大学 湧井 史郎 教授



# 承認事項

## 1. マネジメント会議 会則の変更について

(案)コアメンバーの呼称を「運営委員」と改める。

(コアメンバー)

第13条 マネジメント会議にマネジメント会議の運営の中心的役割を担うコアメンバーを置く。



(運営委員)

第13条 マネジメント会議にマネジメント会議の運営の中心的役割を担う運営委員を置く。

# 承認事項

## 2. 会員の入会について

氏 名： 磯谷 達宏

所属機関： 国士館大学文学部地理学教室

# 承認事項

## 3. マネジメント会議 役員・運営委員の改選について

### マネジメント会議役員(案)

マネジメント会議会長	: 薬袋 奈美子
マネジメント会議副会長	: 井口 実
マネジメント会議副会長	: 佐藤 力
自然環境保全管理会議会長	: 磯谷 達宏
自然環境保全管理会議副会長	: 岩田 臣生

敬称略

※運営委員につきましては別紙をご参照ください。

# 報告事項

平成26年度  
生田緑地マネジメント会議のふりかえり

# 会議の開催状況

平成26年



3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

平成27年

1月

2月

3月

## 全体会

【全体会】

3月24日

## 運営会議

【第1回運営会議】

4月23日

【第2回運営会議】

7月4日

【第3回運営会議】

10月10日

【第4回運営会議】

1月28日

## 自然会議

【第1回自然会議】

5月27日

【第2回自然会議】

8月10日

【第3回自然会議】

12月27日

【第4回自然会議】

3月 日

## 市民部会 里山倶楽部A

【第1回活動】

4月5日

【第2回活動】

5月3日

【第3回活動】

6月7日 中止

【第4回活動】

7月12日

【第5回活動】

9月6日

【第6回活動】

10月4日

【第7回活動】

11月1日

【第8回活動】

12月6日

【第1回活動】

4月19日

【第2回活動】

5月17日

【第3回活動】

6月21日

【第4回活動】

7月19日

【第5回活動】

9月13日

【第6回活動】

10月18日

【第7回活動】

11月15日

【第8回活動】

12月20日

【第9回活動】

1月17日

【第10回活動】

2月21日

# プロジェクト会議等の開催状況

平成26年	コア会議	生田緑地への案内を考えるプロジェクト会議	ぐるっとガイドツアー プロジェクト会議	みどりのサロン
3月				
4月	【第1回コア会議】 4月4日	【第4回プロジェクト会議】 4月15日		
5月		【第5回プロジェクト会議】 5月24日		
6月	【第2回コア会議】 6月20日	【第6回プロジェクト会議】 7月8日		
7月		【第7回プロジェクト会議】 8月28日		
8月		【第8回プロジェクト会議】 10月3日	【プレツアー実施】 11月8日	
9月	【第3回コア会議】 9月22日	【第9回プロジェクト会議】 10月19日	【ぐるっとガイドツアー 実施】 11月29日	
10月				
11月	【第4回コア会議】 12月25日			【第1回みどりのサロン】 6月12日
12月				
平成27年 1月				【第2回みどりのサロン】 11月19日
2月				
3月	【第5回コア会議】 3月10日			

# 取組み

生田緑地への案内を考えるプロジェクト

管 理

運 営

改修・整備

## 生田緑地ばら苑への案内



### 【きっかけ】

・平成25年度第1回全体会において、案内やガイド、おもてなしに関する意見がだされた。第2回運営会議において、プロジェクトが立ち上がった。

### 【内容】

・地域活動団体、自治会、商店街、民間企業等が参加し、ばら苑までの案内について考える。

### 【平成26年度の活動報告】

- ・昨年度同様に、駅前で案内チラシを配りながら、ばら苑や生田緑地までの道を案内した。(春・秋2回開催)
- ・新たな取り組みとして、町内会の回覧板・掲示板用のチラシを作成し、18か所の自治会に配布した。
- ・向ヶ丘遊園駅からばら苑まで、道のりがわかりやすいようにルートに沿って「のぼり」を設置した。

### 【概要】

・平成25年度に引き続き、ばら苑や生田緑地への行き方を分かりやすくすることを目標として、様々な人や団体と協力しながら案内の方法を考えるプロジェクトとして実施している。

# 取組み

## 生田緑地ぐるっとガイドツアー・プロジェクト

管 理

運 営

改修・整備

### ぐるっとガイドツアー

【具体的な活動】



#### 【きっかけ】

- ・マネジメント会議設立以前から、生田緑地内を案内するガイドツアーについて意見が出ていた。
- ・第1回全体会において、案内やガイド、おもてなしに関する意見がだされた

#### 【内容】

- ・専修大学課題解決型インターシップと連携し、多くの人が携われる形で生田緑地を横断的に案内する

#### 【具体的に取り組んだ活動】

- ・ぐるっとガイドツアー実施に向けた話し合い
- ・プレツアーの実施(11月8日)
- ・ぐるっとガイドツアーの実施(11月29日)

#### 【概要】

- ・専修大学課題解決型インターシップと連携して、生田緑地と3館の魅力を来園者に伝えるために、ガイドツアーを実施した。
- ・平成27年度も引き続き専修大学インターシップと連携して進める予定。

# 取組み

コア会議

管 理

運 営

改修・整備

## コア会議の実施



### 【きっかけ】

- ・平成25年度第2回全体会において、マネジメント会議では所帯が大きすぎて動きが鈍いとの意見が出された。
- ・平成26年度第1回運営会議において、コア会議を実施して運営会議の運営について考えるという方向性が出された。

### 【内容】

- ・マネジメント会議会員の希望者により、コア会議を実施し、マネジメント会議の運営のあり方や、取り組みについて議論を行う。

### 【具体的に取り組んだ活動】

- ・本年度は5回のコア会議を実施した

### 【概要】

- ・マネジメント会議会員のうち、希望者によって運営される会議として、マネジメント会議の運営やあり方を議論するほか、マネジメント会議による今後の取り組みなどについても議論を行なっている。

## 取組み

みどりのサロン

管 理

運 営

改修・整備

# みどりのサロンの実施



### 【きっかけ】

- ・平成25年度第2回全体会において、会員同士が気軽に交流し、情報交換・意見交換する機会が必要との意見が出された。
- ・平成26年度第1回運営会議において、気軽に会員が交流できる「サロン的な場」をつくることが提案された。

### 【内容】

- ・会員相互が気軽に懇談できる場の提供。

### 【具体的に取り組んだ活動】

- ・本年度はお試し開催1回を含む2回の開催を実現した。

### 【概要】

会員相互が気軽に懇談・情報交換できる場として、会議とは異なり軽食をつまみながら自由に話ができるサロンとしてスタートした。3館職員による親しみやすいミニ講演を設けるなど生田緑地や各施設について幅広く興味を持ってもらうきっかけとしても機能している。

## 整備事業の流れ

管 理

運 営

改修・整備

# 取組み

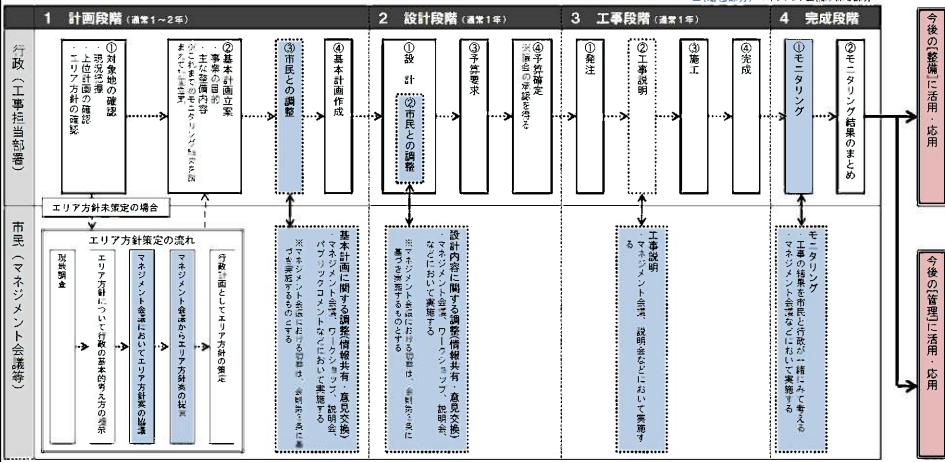
# 生田緑地における改修・整備事業の調整方法について

## 生田緑地における改修・整備事業の調整方法について

**1 背景と目的**  
生田緑地マネジメント会議金則第3条において、マネジメント会議がかかる範囲として「公園施設等の改修・整備に係る調整」が示されている。  
そこで本資料では、生田緑地における工事の種類と担当部署を整理した上で、改修・整備事業の流れと調整方法を明確にすることで、段階的かつ計画的にマネジメント会議と調整を図れるようにすることを目指した。  
尚、本資料に基づいて実施した結果、改修点等が見つかった場合は、必要に応じて改定を行っていくものとする。

2 工事の種類と担当部署	
概要	・新規の建設と整備する工事 ・大規模な改修を行う工事
事例	・周辺施設、西口広場、中央広場の整備工事 ・ゴルフ場クラブハウスの建て替え
主な担当部署	・みどりの保全整備課
調整段階	・計画段階から完成段階まで実施
	①計画・実施を重視し（改めること）、②改名、移転等手交換について、影響等を考慮すること ③評議、かかわる部署等による既存の状況に大きな変化が起きた場合について見直すこと

## 3 改修・整備事業の流れと調整方法



## 【概要】

- マネジメント会議がかかる範囲として「公園施設等の改修・整備に係る調整」が示されている。
- 生田緑地における改修・整備事業の流れと調整方法を明確にすることで、段階的かつ計画的にマネジメント会議と調整を図れるようにすることを目的として整理した。

## 【内容】

・生田緑地における行政の実施する整備事業の流れについて、平成25年度第4回運営会議で案が示された。

・平成25年度第4回運営会議での意見を踏まえ、改修事業も含めた流れにしたこと、計画段階に対象地の確認を含めたこと、完成段階にモニタリングを含めたことなどの変更を行い、この調整方法の流れについて、平成26年度第4回運営会議で確認した。

・平成26年度には、この流れに則る形で、ゴルフ場地区旧クラブハウス跡地の整備について、計画段階からマネジメント会議会員と意見交換会を実施した。

## 取組み

# 旧クラブハウス跡地の利用に関する 意見交換会



## 【内容】

- ・ゴルフ場の旧クラブハウス跡地の利用について、現地説明会・意見交換会を2回実施した。
- ・意見交換会には、マネジメント会議会員から希望者が参加し、展望スペースの設置などの意見を出し合い、整備の方向性について話し合った。

## 【概要】

- ・ゴルフ場のクラブハウス建て替えに伴い、旧クラブハウス跡地が整備されることとなった。これに伴い、整備の方向性を行政と市民との間で調整する目的で意見交換会が2回実施された。

# 取組み

## 生田緑地 マネジメント会議

### 「ルールについて」の検討



生田緑地のルールについて【第4回運営会議のとりまとめ】	
試してみたいこと	会議で出た主な意見
禁煙モールの向上	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 喫煙の可否<ul style="list-style-type: none"><li>・基本的に園内全域は禁煙にしたい。</li><li>・喫煙家、禁煙家のそれぞれの主張を尊重したい。</li><li>・現行ルールを維持する。</li><li>・分煙を徹底して喫煙者を除外しない。</li><li>・分煙を徹底して喫煙者を除外しない。</li></ul></li><li>■ 禁煙場所のさらなる確保<ul style="list-style-type: none"><li>・現実には喫煙できる場所が少なく、喫煙できないことでイライラして離れて吸う人が多い。</li><li>・喫煙場所のこれ以上の設置は難しいのではないか。</li><li>・人の集まる場所に喫煙場所を設けてはどうか。</li><li>・喫煙場所を囲ってほしい。</li><li>・喫煙場所を設置して緑地内で案内すればよい。</li></ul></li><li>■ その他<ul style="list-style-type: none"><li>・バッヂ輸手が駐車場で喫煙するのを何とかできないか。</li></ul></li></ul>
生物採集	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 生物採集そのものに対する考え方<ul style="list-style-type: none"><li>・基本的には NO。生物は傷つけない。</li><li>・このもののキャッチ＆リリースならよいのでは。</li><li>・親が振ったら注意する。</li></ul></li><li>■ 例外的に墨跡したい生物<ul style="list-style-type: none"><li>・外洋種はOKとしてはどうか。</li><li>・ザトウカニは除外したい（持ち出さずに処分）</li><li>・除外する意味を理解して貰う必要がある。</li></ul></li><li>■ ルールの周知<ul style="list-style-type: none"><li>・禁止などということを積極的にPRすべき。</li><li>・特に持ち込み禁止のPRは重要。</li><li>・例外があることを周知するのは難しい</li></ul></li><li>■ だれが注意するか<ul style="list-style-type: none"><li>・充分にルール（とその背景）が説明できる人が行うべき。</li><li>・指定管理者が行うべき。</li><li>・指定管理者だけよいのか。</li></ul></li></ul>
中央広場でのテント類の設置、ボール遊び	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 広場全体<ul style="list-style-type: none"><li>・中央広場そのもののコンセプトを明確にする必要がある。</li><li>・利用者にルールを理解してもらう。</li></ul></li><li>■ ボール遊び<ul style="list-style-type: none"><li>・自由に遊ばせてあげたい。利用者の自己責任。</li><li>・遊ぶる場所をエリアや適切で区切る。</li><li>・遊ぶるボールの種類を決める。遊べるボールを貸し出す。</li><li>・規則制定でボール遊びを実施してみて危険があったかどうか検証する。</li></ul></li><li>■ テント設置<ul style="list-style-type: none"><li>・日陰が必要な場合、周辺の建物や木陰を利用すればよい。（広場にはテントを置いたり、新たに植栽したりしない）</li><li>・よしすぎなどで日陰をつくればよい。</li></ul></li></ul>

管 理

運 営

改修・整備

### 【活動内容】

- ・第2回運営会議において、現在の生田緑地のルールを整理し、今後の進め方を検討した。
- ・第3回運営会議では、生田緑地で「やりたいこと」、「必要なルール」をテーマに4グループに分かれてグループミーティングを行った。
- ・第4回運営会議では、第3回運営会議の検討結果を受けて、「喫煙マナーについて」、「生物採集について」、「中央広場の利用について」の3つのテーマに分けて、今後の方針性やルールのあり方についてのグループミーティングを実施した。

### 【概要】

生田緑地のルールについては、「周知されていない」、「認識が個人で異なる」等の課題があつたため、マネジメント会議会員で共通の認識を持つこと、保全と利用の調整を前提とする共有できるルールについて考えることなどを目的に、平成26年度から検討を始めた。

## 取組み

## 奥の池のかいぼり(在来生物保護活動)



## 【内容】

- ・生田緑地内にある「奥の池」の水質改善を目的に、池の水を抜き、堆積した泥を除去する「かいぼり」を平成27年3月に実施した。
- ・水を抜く前に平成27年2月28日に、奥の池に生息するホトケドジョウなどの在来生物保護と在来生物の生態を脅かす外来生物の駆除をする活動を行った。
- ・活動は「生田緑地の谷戸とホトケドジョウを守る会」を中心に「特定非営利活動法人 かわさき自然調査団」、「生田緑地の雑木林を育てる会」、「向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会」が活動に参加した。

## 【概要】

奥の池においては、長年の体積汚泥により水質が悪化しており、行政とマネジメント会議で「かいぼり」を実施することを決めた。「かいぼり」にあたり、マネジメント会議会員の参加により、在来生物の保護、外来生物の駆除を実施した。

# 取組み

モニタリング

管 理

運 営

改修・整備

## 枡形山斜面地の整備後のモニタリング



### 【内容】

- ・平成26年11月22日(土)に倉本先生のコーディネートにより実施した。
- ・整備事務所会議室にて、今回のモニタリングの趣旨を説明した後、現地でみどりの保全整備課による現場説明と意見交換を行った。
- ・今回は枡形山斜面地整備後のモニタリングを行い、以下の3点で合意が得られた。
  - ・雨水の集水の方法  
⇒雨水を排水するのではなく、浸透させるなど、湧水を保全する工法を工夫をしたい。
  - ・しがら工の今後の管理  
⇒プラスチック製しがらは分解しない。溜まった落葉をどうするかが今後の課題。
  - ・園路際の伐採された花木  
⇒事後調査を行い、対策の必要性を見極める。

### 【概要】

- ・立場の異なった会員同士が、立場に関係なく自由に発言し、生田緑地の工事のあり方についての考える場として設定した。生田緑地で行われた整備工事の一つを事例として取り上げ、現地で現場を見ながら議論する会とした。

## 取組み

### 自然環境保全管理 会議

管 理

運 営

改修・整備

# 自然環境保全管理会議会員以外の 参加者を募り勉強会形式で会議を実施



#### 【内容】

- ・本年度は計4回会議を実施し、そのうちの第2回と第3回を自然会議会員以外にも参加者を募って勉強会形式で行った。
- ・第2回は、植物の遺伝子について勉強している研究生から「遺伝子から見る植物の見方」について情報提供を受け意見交換を行った。
- ・第3回では、生田緑地の外来生物を取り上げた。情報提供された方、実際にアライグマがいることを通報した方、外来種駆除活動に参加された方の感想を交えて意見交換を行った。

#### 【概要】

- ・自然環境保全管理会議(自然会議)は、マネジメント会議に常設される3つの常設会議(全体会、運営会議、自然環境保全管理会議)のひとつで、生田緑地の自然環境の保全管理等に関する事項を所管している。
- ・「生田緑地植生管理計画」の提言、「生田緑地植生管理実施プログラム」の策定については、自然環境保全管理会議の所管事項となっている。

# 取組み

## 自然環境保全管理 会議

### 市民部会の活動



管 理

運 営

改修・整備

#### 【活動内容】

- ・市民部会「里山俱楽部」は、平成26年もA、Bの2つの班に分かれ活動を行った。
- ・里山俱楽部Aは、主に雑木林を育てるための皆伐更新地区にて雑木林を育てるための植生管理(下草刈りなど)や、モニタリング等を6組の親子と計8回の活動を行った。
- ・里山俱楽部Bは、経験の有無にかかわらず参加できる活動として、管理のあり方について現地を見ながら話し合ったり、雑木林の下草刈りや竹林管理など、生田緑地の生物多様性を保全するための活動を実施し、計10回活動を行った。

#### 【概要】

自然環境保全管理会議では、生田緑地の自然体系を次代に引き継ぐための市民ボランティア活動として、市民部会「里山俱楽部」を組織している。

# ワークショップ

テーマ:

「生田緑地のファンを増やしていくために」

- 平成27年度はどんなことをすればよいのか
- 平成27年度はどんなことをしたいのか など

キーワード:若い人、外国人など

# これまでに実現できたこと

## 平成 25 年度第 1 回全体会ワークショップ意見とりまとめ テーマ：『生田緑地のファンを増やしていくために』

### 地域連携

- 地域の子供達が遊べる場所、地域のお母さんが集まる場所
- 敷地外の地区のボランティア活動グループと緑地を中心としたイベント
- 町内会の神輿が生田緑地芝生広場までねりあるく
- 市民の方と、生田緑地の桟形山でお花見をしながら生田緑地について話す
- 地元の人々と商店会員と生田緑地に行く
- 緑地と 3 駅周辺をつなぐように、まち全体でスタンプラリー・宝探しなど
- お店の人に協力してもらいながら季節ごとのフットパスをつくる
- ★商店も朝から開き、緑地内で定期的な朝市などのイベント

### 交通

- ★緑地への交通調査
- ★交通アクセスの改善
- 駅から自由に乗れる自転車
- 藤子ミュージアムのシャトルバスを地域の循環バスへ
- お年寄りや体の不自由な方のために電気自動車やトレインの運行

### アイディア

- マネジメント会員と、4館連携したイベント等を開いて欲しい
- 企業・飲料メーカー夏フェス
- フラナタリウム+緑地 ウェディング
- ★子供たちが楽しめる学習会や発表会
- ★学生たち（高校・大学生）と生田緑地の自然の魅力発信の仕組み作り
- 専修大学のサテライトをインフォメーションセンターとして使わせてもらう
- 宿泊施設の建設、地域の方の家の空き部屋をゲストハウス化
- いざという時に集まって何かをする、防災ボランティアを作る

### ブランド化

- 生田緑地のブランド化シンボルマーク、キャッチフレーズ
- ★アンテナショップで生田緑地グッズ等団体 PR（はじめは常設ではなくイベントで）

### 広報・情報

- ★市の団体を含めたマネジメント会議会員の方で情報共有
- 全国に散らばる友人を生田緑地（桟形山展望台）に連れてきて、皆でパンザイをする（空気のうまさ、色のすばしがしさ、緑の美しさ・魅力の発信）
- ★魅力をインターネットで
- ★より広く、多くの人を呼び込む PR
- よいと思うところを広く伝え、共感を受けていく
- ★生田緑地各施設間の連絡
- ★市以外への PR

### 健康

- 消費カロリー標示
- 散策コースの設定
- ★中央広場他、屋外のヨガ教室
- 家族で、一人で、緑地でのんびり森林浴

### おもてなし・案内・ガイド

- ボランティアの配置数を増やし、観植物の特徴などを案内する
- ★案内板の改良
- 生田緑地内の素敵な景色紹介イベント、皆で歩いて景色を確認
- 木の名札を付ける
- ★日本民家園、岡本太郎美術館、青少年科学館、ばら苑につれてきて案内
- ★ボランティアガイド育成
- ★マネジメント会議と生田緑地の案内をしたい
- マネジメント会議のメンバーと向ヶ丘遊園駅前に観光案内所を作りたい
- ゴルフをされる市民、ゴルフをされない市民に対してのサービスを考える

### 自然

- ほたるが住める森を作る
- ★自然と民家を眺めながらゆっくりできる休み場所
- ツリフネソウ、ミゾソバを見る
- 初山やホタルの里でホタルの見学をさせたい
- ★縁の少ない場所に住んでいる人々に来ていただき、生田緑地の縁を満喫してほしい
- 生田緑地を知らない人とハンノキ林・ホタルを見る
- 孫と緑地内の散策をして自然の良さを知ってもらいたい
- 地域小学校と農業自然体験、南北交流寄宿
- 小学生と生田全体で、泊りがけの自然教室（ナイトハイクなど）

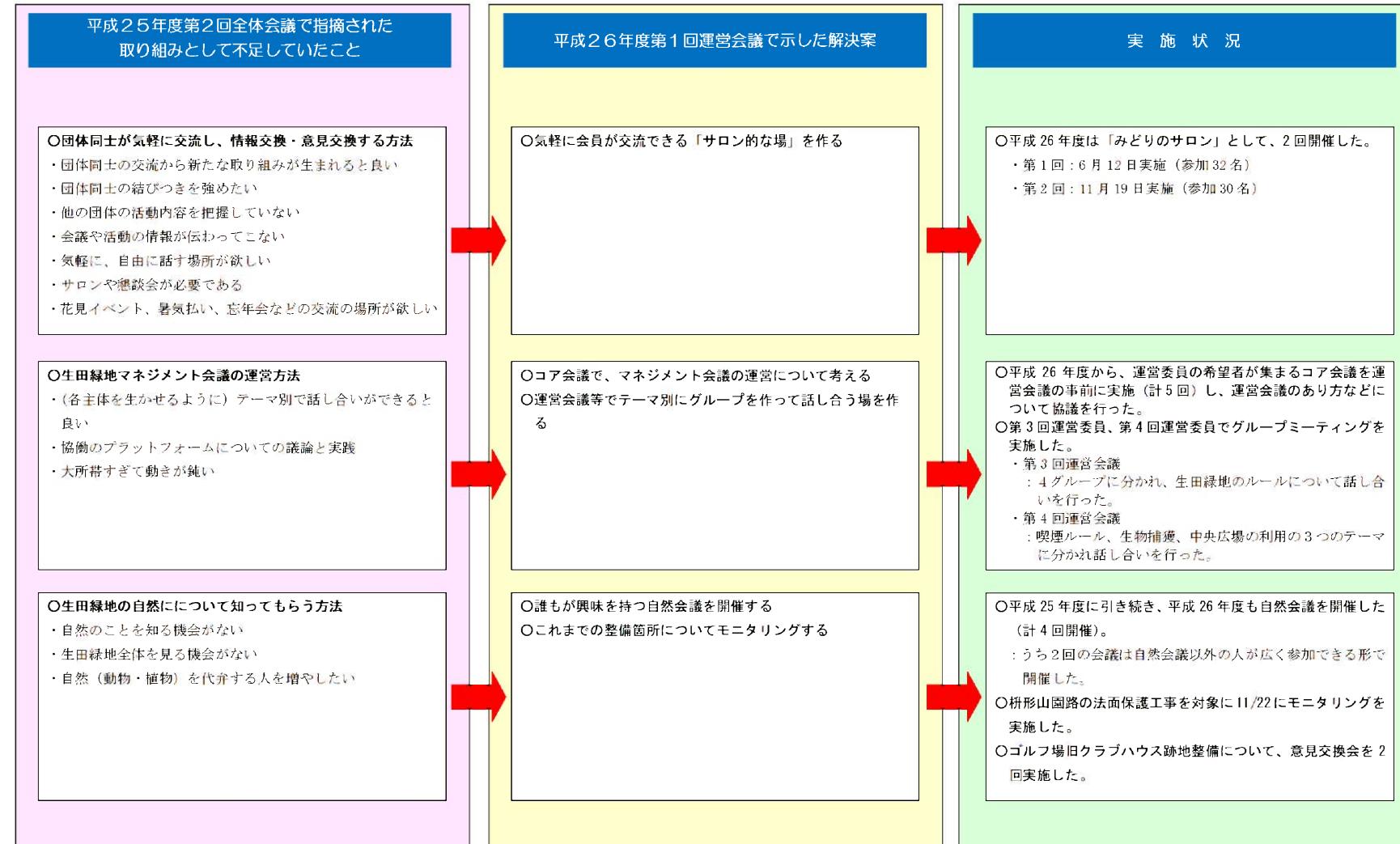
### 歴史・文化

- ★観光資源だけでなく遺産価値を高めていく
- ★歴史に興味のある人を生田緑地に連れてていき、散策だけでなく生田緑地の歴史や由来などを聞く会
- マネジメント会議会員と生田緑地の歴史・現状をきちんと勉強したい

### 凡例

- ★：平成 25 年度に実現したこと  
※ 26 年度も実施中のものも含む
- ★：平成 26 年度に新たに実現したこと

# 昨年度の課題と本年度の実施状況



## アドバイザーからのお話

東京都市大学 環境情報学部 環境情報学科  
教授 涌井 史郎